

## USHA JAPAN 第 42 回定例会議事録

開催日時：2023 年 12 月 16 日（土）15:00～15:40

開催場所：Zoom

議長：神崎

書記：苗村

出席者：神崎、河田、Praksh、苗村（順不同、敬称略）

### 1. 報告事項被災地支援について（パルカス）

現地情報の入手が困難な状況である。正確な被災地情報を入手することは容易ではないが、USHAJAPAN ホームページを閲覧し現地の情報を収集している方や、寄付支援者に向けていち早く正確な情報をお届けできるように、現地スタッフの知人を通して情報収集をより進めていく予定である。集まった寄付金について、現地で寄付金等を統括管理している責任者がおり、支援の内容を決めて手渡す予定である。贈与の際には、統括責任者と現地スタッフで写真撮影を行い、その様子を随時ホームページや SNS に掲載していくと、日本で寄付いただいた方々にも確認いただけるのではないかと。

### 2. 動画作成について（河田・苗村）

11 月～12 月は被災の影響もあり、寄付サイトの充実や寄付金収集を優先とした活動が行われていたが、今後は以前から企画していた動画作成に関しても迅速に進め、作成に取り掛かる予定である。在日ネパール人が抱えやすい異文化適応に関する課題について根拠に基づき考察し、その上で日常生活に関する内容から避妊や中絶を含むセクシュアリティに関する内容等、多岐にわたる内容の動画を作成し配信していくことができるように次第を作成している段階である。今後はアプリ開発も視野に入れているが、現段階では助成金獲得・クラウドファンディング参入に関しては結果待ちであることも踏まえ、動画配信に尽力していく予定である。

### 3. ホットライン開設（河田・苗村）

動画作成やアプリ開発と同時に企画を進めているホットラインの開設であるが、現段階では詳細が決定していない。ホットラインの開設は、本来、リアルタイムで身近に相談できる等の利点から、電話対応が望ましいという意見もあるが、スタッフのマンパワーや同時に進行しているプロジェクトを踏まえると長時間の窓口の設置・電話対応は実現・持続可能性が低いと考える。また、その場で応答するといった即席解決のメリットよりも、ホットライン利用者の相談内容への応答は根拠に基づく正確な知識の提供が望ましいという意見もあり、どのような媒体、システムでサービスを提供していくかは引き続き慎重に審議していく必要がある内容である。通話アプリ Line 等で開設されている相談窓口を参考にし、ネパール人の利用率が高い Viber アプリなどで開設が可能かも踏まえ検討していく予定である。

## 2. 審議事項

### 1) 2024 年度 技能実習生受け入れについて（パルカス）

団体 HANAMIZUKI のネパール人技能実習生の受け入れに関して、2024 年 1 月上旬頃から 2 月末日までに合計 26 名のネパール人技能実習生が来日する予定となっている。ネパールでは、USHAJAPAN についてパルカス氏より受講生に当団体の活動内容などの説明がなされている。技能実習生が、来日時に USHA JAPAN メンバーが迎えることで顔が見え、存在を認識してもらえ、そこで活動や支援の内容を説明することで活用しやすくなるのではないかと。

→ 実習生の来日時のイベントに関して、酒井会長に報告し検討することとする。

次回定例会予定 2024 年 1 月 20 日 15:00～  
以上